記者発表資料

平成３０年　３月　９日
東 北 地 方 整 備 局

入札監視委員会の審議概要について
（第一部会第４回定例会議）

東北地方整備局入札監視委員会の平成２９年度第一部会第４回定例会議が、平成３０年　２月２０日（火）に仙台市の東北地方整備局で開催されましたので、その審議概要（別紙）についてお知らせします。

なお、第一部会第４回定例会議では、委員会が抽出した案件９件の審議が行われ、意見の具申又は勧告事項はありませんでした。

〈発表記者会：宮城県政記者会、東北電力記者会、東北専門記者会〉

問 い 合 わ せ 先

国土交通省 東北地方整備局　仙台市青葉区本町３－３－１　TEL (022)225-2171（代表）
（第一部会）

主 任 監 査 官　佐藤（さとう）　博明（ひろあき）（内線２１１４）
入札契約監査官　大場（おおば）　績（いさお）（内線２２２０）
契 約 管 理 官　中新田（なかしんでん）　由雄（よしお）（内線２２２２）
技術開発調整官　瀧澤（たきさわ）　靖明（やすあき）（内線３１２０）

東北地方整備局　入札監視委員会（第一部会）　審議概要

開催日及び場所	平成３０年　２月２０日（火）　東北地方整備局　大会議室		
委員	部　会　長　久田　　真　【(国) 東北大学大学院 工学研究科 教授】 部会長代理　泉田　成美　【(国) 東北大学大学院 経済学研究科 教授】 委　　員　大泉　太由子【(一社)東北圏地域づくりコンソーシアム 理事】 委　　員　鈴木　　覚　【弁護士】		
審議対象期間	平成２９年１０月　１日　～　平成２９年１２月３１日		
審議案件	総件数　　９件　（別紙－１　審議案件一覧のとおり）		
工事	一般競争入札（政府調達に関する協定適用対象）	１件	（備考） (1) 工事、建設コンサルタント業務等、役務の提供等及び物品の製造等の発注状況 (2) 指名停止等の運用状況 (3) 談合情報等の対応状況 (4) 再度入札における一位不動状況 (5) 低入札価格調査制度調査対象工事の発生状況 について報告を行った。
	一般競争入札（政府調達に関する協定適用対象以外）	３件	
	工事希望型競争入札	０件	
	指名競争入札	１件	
	随意契約	１件	
建設コンサルタント業務等		２件	
役務の提供等及び物品製造等		１件	
委員からの意見・質問、それに対する説明・回答	別紙－２のとおり		
委員会による意見の具申又は勧告の内容	別紙－３のとおり		

審 議 案 件 一 覧

別紙－1

【工事】

入札方式	工 事 名	工 事 種 別	競争参加資格を確認した者の数	入札参加者数	契約締結日	契約の相手方	契 約 金 額（単位：千円）	落 札 率（単位：%）	備　考
一般競争入札方式（政府調達に関する協定適用対象工事）	東北中央自動車道　下小国地区道路改良工事	一般土木工事	20	20	H29.10.10	五洋建設（株）	3,108,240	90.1	福島

入札方式	工 事 名	工 事 種 別	競争参加資格を確認した者の数	入札参加者数	契約締結日	契約の相手方	契 約 金 額（単位：千円）	落 札 率（単位：%）	備　考
一般競争入札方式（政府調達に関する協定適用対象工事以外のもの）	織笠高架橋補強工事	鋼橋上部工事	1	1	H29.10. 6	（株）IHIインフラ建設	184,356	90.2	三陸国道
一般競争入札方式（政府調達に関する協定適用対象工事以外のもの）	月山ダム水位維持放流設備等修繕工事	機械設備工事	1	1	H29.10.30	佐藤鉄工（株）	12,420	95.0	月山ダム管
一般競争入札方式（政府調達に関する協定適用対象工事以外のもの）	今田地区道路改良工事	一般土木工事	2	2	H29.10.24	太田建設（株）	278,640	91.5	磐城国道

入札方式	工 事 名	工 事 種 別	指名業者数	入札参加者数	契約締結日	契約の相手方	契 約 金 額（単位：千円）	落 札 率（単位：%）	備　考
工事希望型以外の指名競争入札方式	御所ダム管理庁舎改修外1件工事	建築工事	32	1	H29.12. 1	東照建設（株）	56,160	98.3	北上川統管

入札方式	工 事 名	工 事 種 別			契約締結日	契約の相手方	契 約 金 額（単位：千円）	落 札 率（単位：%）	備　考
随意契約方式	国道47号　猪ノ鼻トンネル（2期）工事	一般土木工事			H29.10.18	大成建設（株）	4,060,800	99.6	山形

【建設コンサルタント業務等】

入札方式	業 務 名	業 種 区 分	競争参加資格を確認した者の数	入札参加者数	契約締結日	契約の相手方	契 約 金 額（単位：千円）	落 札 率（単位：%）	発注部署
一般競争入札方式	東北地方における持続可能な下水道事業に向けた検討業務	土木関係建設コンサルタント業務	2	1	H29.10.10	（株）建設技術研究所	6,318	99.2	建政部

入札方式	業 務 名	業 種 区 分	手続への参加資格及び業務実施上の条件を満たす参加表明書の提出者数	入札参加者数	契約締結日	契約の相手方	契 約 金 額（単位：千円）	落 札 率（単位：%）	備　考
簡易公募型競争入札方式	浅瀬石川ダム湖水循環装置詳細設計業務	土木関係建設コンサルタント業務	1	1	H29.12.15	（株）建設環境研究所	9,698	97.3	岩木川統管

【役務の提供等及び物品の製造等】

入札方式	業 務 名	業 務 分 類	競争参加資格を確認した者の数	入札参加者数	契約締結日	契約の相手方	契 約 金 額（単位：千円）	落 札 率（単位：%）	備　考
一般競争入札方式	雪道走行安全啓発広報業務	役務の提供等	1	1	H29.11.13	（株）サキガケアドバ	1,190	99.9	能代

別紙－２

１．報告	
意見・質問	説明・回答
意見・質問なし	

２．審議	
意見・質問	説明・回答
１　東北中央自動車道　下小国地区道路改良工事	
・１次下請、２次下請の割合が高いが、下請に対する丸投げがされていない確認はどのように行うのか。	・当工事の内容は大半が土砂の掘削、運搬を行うものである。下請は、大規模土工に必要な重機や掘削土の運搬を行うものであり、工事全体の施工管理、安全管理、工程管理などは元請会社が行っているため、丸投げには当たらないことを確認している。
・下請への丸投防止の基準は。	・建設業法第２２条（一括下請負の禁止）で定められている。
・無効となった４者の理由は何か。	・３者は低入札のため追加資料を求めたが提出がなされなかったことにより、１者は他の工事を受注したため技術者の配置ができなかったことによる。
２　織笠高架橋補強工事	
・耐震基準の見直しで補強していくとのことだが、実際東日本大震災でどのくらいの被災を受けたか。また、順次他の箇所も補強していくのか。	・織笠高架橋については被害を受けていない。また、今後も橋梁の構造照査を行い計画的に耐震補強を行っていく予定である。
・似たような橋梁工事は過去にもあったのか。過去との比較で入札参加しにくい部分はあったのか。	・平成２６年から同様の工事を行っており、入札参加者の状況は平成２６年に４者でその後は１者となっている。斜面中腹での作業と施工条件が悪いことや高所で狭隘な箇所での作業と効率が悪いことが考えられる。
３　月山ダム水位維持放流設備等修繕工事	
・老朽化した設備のみの交換なのか。その後のメンテナンスも含めた契約となっていないのか。	・老朽化した設備を新しい物に交換し運転調整まで行っており、メンテナンスは別途契約である。

・メンテナンスまで含めた契約は難しいのか。一般的に切り離す契約が多いのか。	・一般的には修理とメンテナンスは切り離し行っており、メンテナンスはこの設備だけでなく他の設備も含め、まとめて発注している。
・コンプレッサーの更新ということで参加しやすい面もあったと思うが、結果、入札参加者が１者であり、設置業者が有利な面もあると思われるが、他の業者が参加しやすい工夫はないのか。	・コンプレッサーやヒーターなど他の設備も入っているので他者も参加可能であったが、工事時期等が関係しているのではないかと考えている。今後はロットを大きくするなど工夫したいと考えている。
４　今田地区道路改良工事	
・復興事業のピークでもあり２者の入札参加ということであったが、参加要件で窓口を広げるとかあったと思うが、何か反省点等はあるか。	・一般土木の等級をＢ等級又はＣ等級と広げ、施工実績を満たす業者を４０５者としている。自治体の復興事業がピークでそちらに技術者を取られている現況ではあるが、業界とも意見交換しながら入札参加者が増えるよう取り組んでいきたい。
５　御所ダム管理庁舎改修外１件工事	
・少額の営繕工事は不調不落が多いため指名競争としているとのことだが、今後どのような状況になったら一般競争に戻すのか。	・近隣事務所等の応札状況もいろいろ確認しながら戻していきたい。
・１巡目と２巡目で応札した業者はそれぞれ１者だったが同じ業者か。	・１巡目で応札した業者が２巡目でも応札している。
６　国道４７号　猪ノ鼻トンネル（２期）工事	
・トンネル工事では１期と２期に分割するとか、前工事の段階で２次工事を随意契約することがしばしばあるのか。	・本来であれば一本の工事として契約することが望ましいが、国庫債務負担行為は最大５ヶ年と定められており、当初から５ヶ年以上かかるとされている工事の場合は２期工事を設定し随意契約を行っている。件数はそれ程なく、延長が２，５００ｍを超える場合などである。
７　東北地方における持続可能な下水道事業務に向けた検討業務	
・過去にも同様の発注があったのか。その際、今回の落札業者は参加していたのか。	・平成２８年度も同様の業務は行っており、同じ業者が参加し落札している。
・自治体への展開はどのように行っていくのか。	・自治体が見て分かりやすい資料等を作成し展開していく。
８　浅瀬石川ダム湖水循環装置詳細設計業務	

・設計範囲の詳細はどうなっているのか。 ・建築工事等では基本設計と詳細設計はよく聞くが機械装置でも別々の発注とすることが多いのか。	・湖水循環装置のうち、コンプレッサーからダム湖に浮かぶ装置までの空気を送り出す配管のルート選定や固定方法の設計となる。 ・今回の場合は工事全体の概略設計を行い、その後パーツ毎に詳細設計を行っているが、ケースによると思われる。
9　雪道走行安全啓発広報業務	
・広報業務については、地元業者に限定しない参加要件としているのか。 ・新聞、ラジオの世代ではない若い人達に向けたスマートフォン等への広報戦略は別に行っているのか。	・より多くの業者に参加していただくため東北地方整備局管内に範囲を広げている。 ・この業務は、新聞、ラジオでの広報であるが、我々のホームページでも発信しており、いつでも見られるようにしている。

別紙－３

３．委員会による意見の具申又は勧告内容

本日の定例会議において、意見の具申又は勧告を行う事項はない。

ただし、今後の入札契約手続きにおいて意見要望がある。

・１者応札、２者応札について技術者不足等、いろいろな事情やむを得ないケースや経緯はあると思うが、公平透明な入札を確保するためにはどうしたらよいか引き続き検討していただきたい。
・調査業務の契約について、それぞれのケースや事情もあると思うが、地元業者が排除されるようなことのない参加要件の検討も続けていただきたい。

今後とも、入札及び契約手続きにおける一層の透明性及び競争性の確保など、入札・契約業務の適正な執行を行っていただくようお願いする。

【当局からのコメント】

意見要望のありました、１点目は、１者入札の関係で更に競争性を高める入札のあり方について。２点目は、調査業務での地元業者の活用について。今後の発注の参考にさせていただきたいと考えている。

委員の皆様方からの疑問やご意見を含めて今後の入札・契約業務に反映させていただく。
また、さらなる透明性競争性の確保に努めてまいりたい。